

あいち 食品工業技術センターニュース

2016年12月号

今月の内容 ● トピックス

● 技術解説「試料観察型熱分析装置が導入されました」

トピックス

● 「知の拠点あいち重点プロジェクト（I期）」成果普及セミナーを開催しました。

「食の安心・安全技術開発プロジェクト」の一環として「残留農薬の簡単・迅速・安価な検査技術」をテーマに標記のセミナーを12月1日（木）に当センターにて開催しました。

当日は、県内の食品関連企業等より多くの方々に参加していただきました。

内 容 講演1 「イムノクロマト法を用いた残留農薬検出技術」

豊橋技術科学大学大学院 環境・生命工学系 教授 岩佐 精二 氏

講演2 「GC-MS 用残留農薬微量マルチ定量パッケージ」

(株) 島津製作所分析計測事業部プロダクトマネージャー 宮川 治彦 氏



● （独）国際協力機構 青年研修「中央アジア・コーカサス混成 経済行政（産業振興）」で研修生のみなさんが来訪されました。

今回の青年研修は、中央アジア5カ国・コーカサス3カ国から将来のリーダーとなる若手行政官を招き、日本の経済発展を支えてきた行政の産業振興政策について学んでいただくことで、自国の課題と改善案を明確にしてもらうことをねらいとしています。当センターでの研修では、センターの概要説明に始まり、研究活動の実際を見学していただき、愛知県の高度な食品関連技術について理解していただきました。



● 「アグリビジネス創出フェア2016 in 東海」にパネル展示で参加しました。

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会と農林水産省主催の標記のフェアが11月28日（月）～11月29日（火）の2日間、名古屋大学ES総合館で開催されました。当センターでは、桜酵母を用いたパンの製造に関する研究成果をパネル展示しました。

